

LIXIL 端部カバーC

ライシスフェンス3型・5型・9型・10型・13型、プレスタフェンス3型・7Y型・8S型 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


警告

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。


ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。





<施工上のご注意>


注意

- 施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 柱間隔1m以内で施工の指示があるものは、必ず指示にしたがってください。強度低下の原因となります。
- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因となります。
- 柱と本体ジョイント部の間隔は300mm以内に施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。
・ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
φ4ネジ：1.6N・m±0.3N・m(16±3kgf・cm)
- 組付け後、鋭利な切断面やバリが露出していないことを確認してください。露出したままではケガをするおそれがありますので、必ず修正してください。






■梱包明細表

【1】ライシス3型

名 称	略 図	員 数			
		T-6	T-8	T-10	T-12
縦棧		2	2	2	2
縦枠		2	2	2	2
【1-1】φ4×20ナベタッピンネジ2種(G=5)		4	4	4	4
【1-2】φ4×15ナベタッピンネジ2種(G=5)		13	17	21	25
取付説明書<C443>	—	1	1	1	1




【1-2】は
1本余ります。

【2】ライシス5型・13型

名 称	略 図	員 数				
		T-6	T-8	T-10	T-12	T-14
縦棧		2	2	2	2	2
縦枠A		1	1	1	1	1
縦枠B		1	1	1	1	1
【2-1】φ4×20ナベタッピンネジ2種(G=5)		4	4	4	4	4
【2-2】φ4×15ナベタッピンネジ2種(G=5)		11	15	19	23	27
取付説明書<C443>	—	1	1	1	1	1





【2-2】は
1本余ります。

【3】ライシス9型・10型






名 称	略 図	員 数	
		分割用	切詰用
縦棧		2	—
端部カバー枠		2	1
【3-1】φ4×20ナベタッピンネジ2種(G=5)		4	—
取付説明書<C443>	—	1	1

切詰用の場合は本体から外した縦棧と
【3-1】ネジを再利用してください。

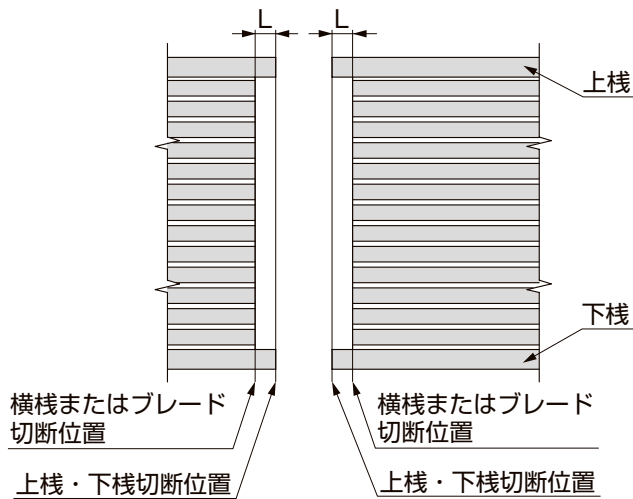
【4】プレスタ3型・7Y型

名 称	略 図	プレスタ3型			プレスタ7Y型			
		T-6	T-8	T-10	T-6	T-8	T-10	T-12
縦棧		2	2	2	2	2	2	2
縦枠		2	2	2	2	2	2	2
クッション材		4	4	4	4	4	4	4
【4-1】φ4×15ナベタッピンネジ2種(G=3)		24	30	38	18	24	30	38
取付説明書<C443>	—	1	1	1	1	1	1	1

【5】プレスタ8S型

名 称	略 図	員 数			
		T-6	T-8	T-10	T-12
縦棧		2	2	2	2
縦枠		2	2	2	2
クッション材		4	4	4	4
【5-1】φ4×16トラスタッピンネジ1種		5	5	5	5
【5-2】φ4×15ナベタッピンネジ2種(G=5)		19	27	35	43
取付説明書<C443>	—	1	1	1	1

1. 本体の切断



- ① 本体を分割位置で切断してください。
- ② 表1-1にしたがって、横棧またはブレードを切断位置で切断してください。

補足

- ライシス9型・10型は、本体端部より82mm以内、903mm～1072mmは切断ができません。

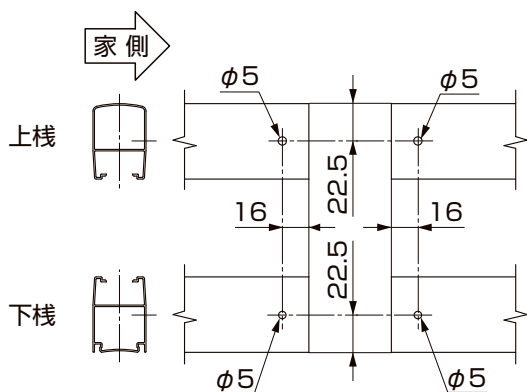
ポイント

- ポリカーボネートのルーバーパネルは熱膨張するため横棧より短く設定されています。

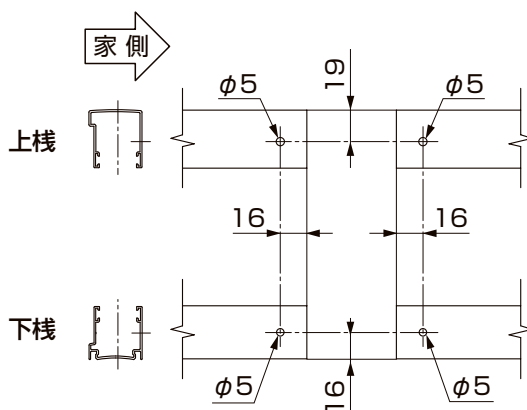
表1-1 切断位置

タイプ	部材	L
ライシス3型	ビスホールあり横棧	19
ライシス3型	ビスホールなし横棧	11.5
ライシス5型・13型	ブレード	17.5
ライシス9型・10型	横棧	20
プレスタ3型・7Y型	横棧	12.5
プレスタ8S型	横棧	12
	横ルーバー	15

2. 本体の孔加工



ライシス3型・5型・9型・10型・13型



プレスタ3型・7Y型

- ① 左図を参照して、上・下棧にφ5の孔加工を行なってください。

ポイント

- φ5の孔加工は裏面(家側)のみです。

3. 本体の組付け ※分割した本体のもう一方も、同様に組付けてください。

3-1 ライス3型の場合

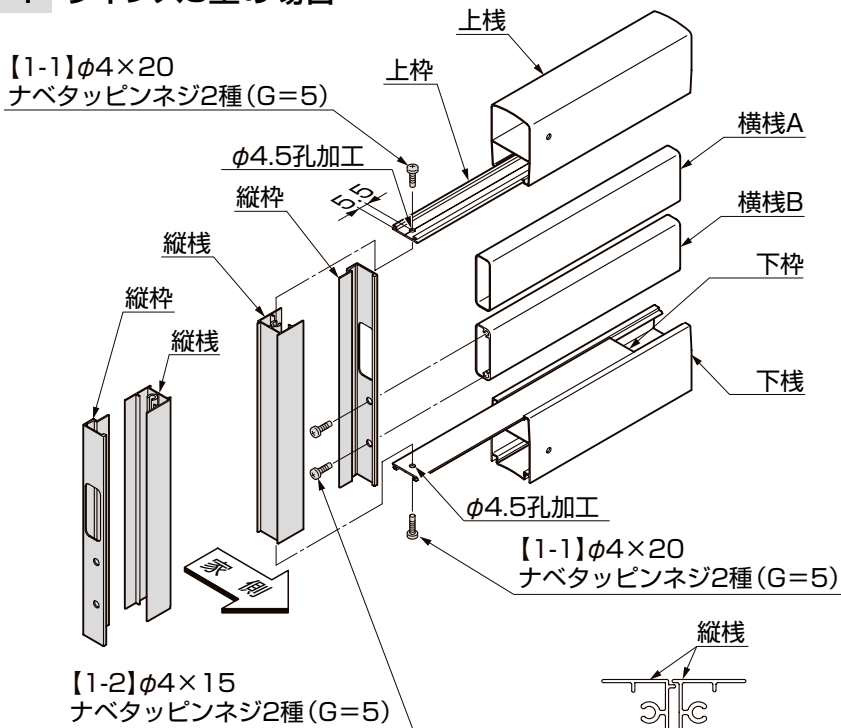


図3-1 縦棧の取付け

①横棧に縦枠を【1-2】で取付けてください。

補足

●縦枠には横棧取付用の切り欠きと孔加工がしてあります。

②上・下棧を左右にスライドし、上・下枠に左図を参照してφ4.5の孔をあけてください。

③縦棧を【1-1】で上・下枠に取付けてください。

ポイント

●縦棧は、図3-1のようになるように取付けてください。

④スライドさせた上・下棧を元の位置に戻してください。

3-2 ライス5型・13型の場合

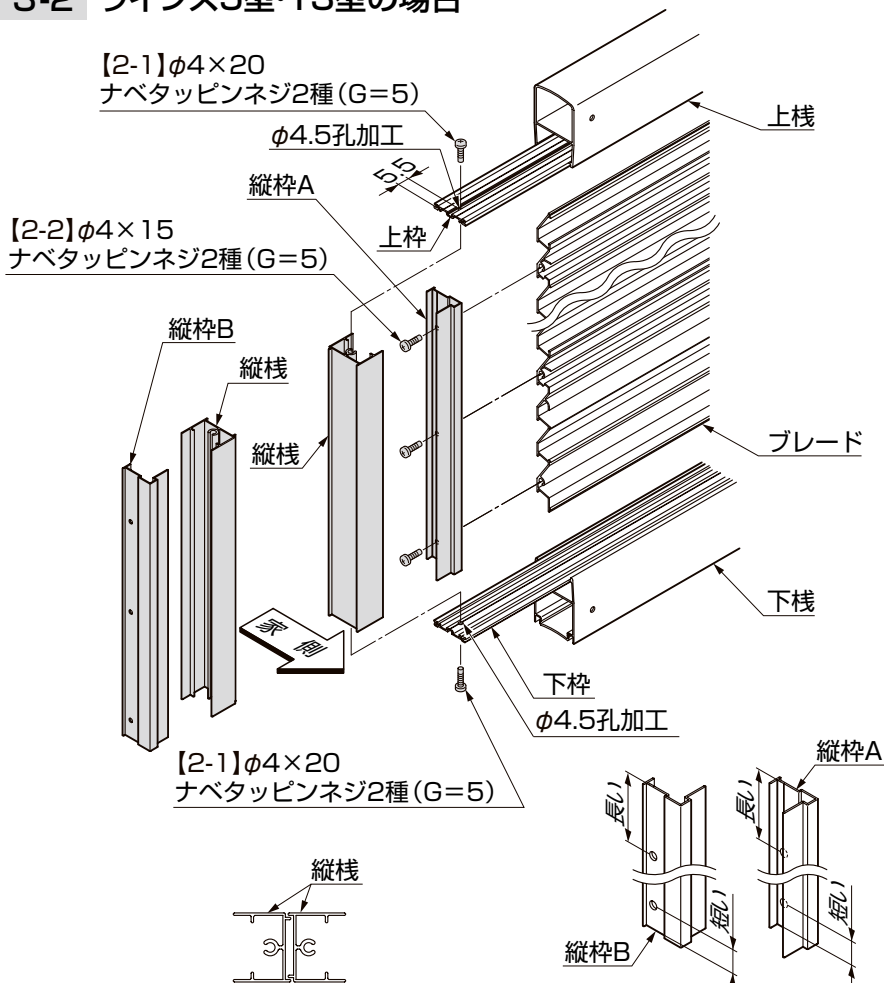


図3-2 縦棧の取付け

図3-3

①ブレードに縦枠AまたはBを、【2-2】で取付けてください。

ポイント

●縦棧AとBの区別は、図3-3を参照してください。

②上・下棧を左右にスライドし、上・下枠に左図を参照してφ4.5の孔をあけてください。

③縦棧を【2-1】で上・下枠に取付けてください。

ポイント

●縦棧は、図3-2のようになるように取付けてください。

④スライドさせた上・下棧を元の位置に戻してください。

3-3 ライス9型・10型の場合

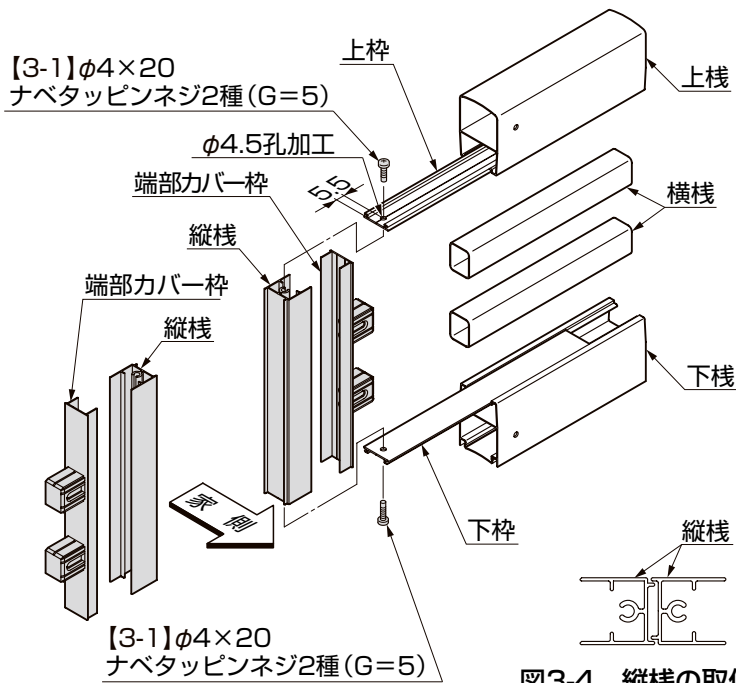


図3-4 縦棧の取付け

①上・下棧を左右にスライドし、上・下枠に左図を参照してφ4.5の孔をあけてください。

②横棧を端部カバー枠に取付けてください。

③縦棧を【3-1】で上・下枠に取付けてください。

ポイント

●縦棧は、図3-4のようになるように取付けてください。

④スライドさせた上・下棧を元の位置に戻してください。

3-4 ライス9型・10型 切詰めの場合

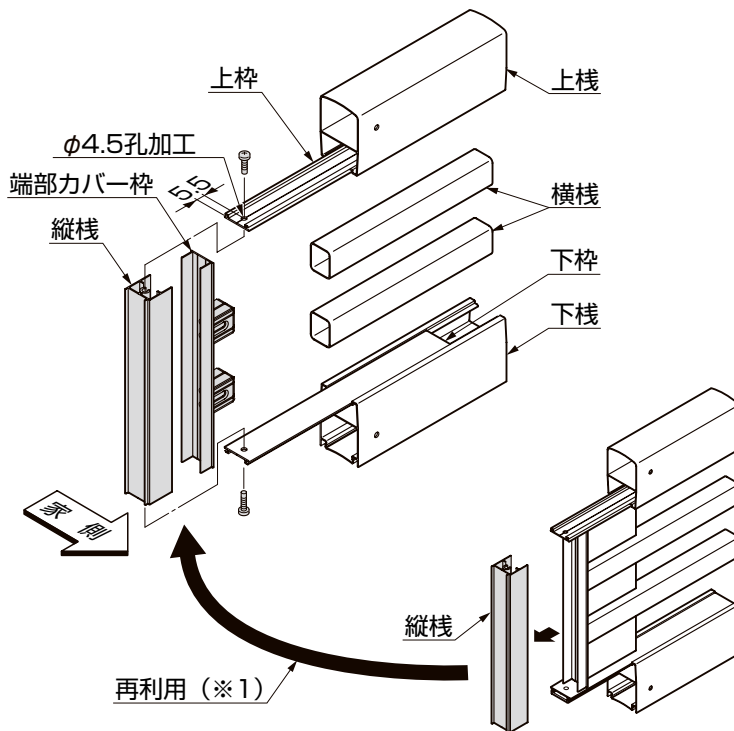


図3-5 切詰めた余りの本体

①上・下棧、上・下枠を、切詰めの長さ分切断してください。

②切詰めた本体の横棧の切断および、上・下棧の孔加工を行なってください。
(「1.本体の切断」、「2.本体の孔加工」参照)

③切詰めた余りの本体から、縦棧を外してください。(図3-5参照)
縦棧と縦棧取付ネジは再利用してください。(※1)

④以降の取付手順は、「**3-3** ライス9型・10型の場合」と同様に行なってください。

3. 本体の組付け つづき

3-5 プレスタ3型・7Y型の場合

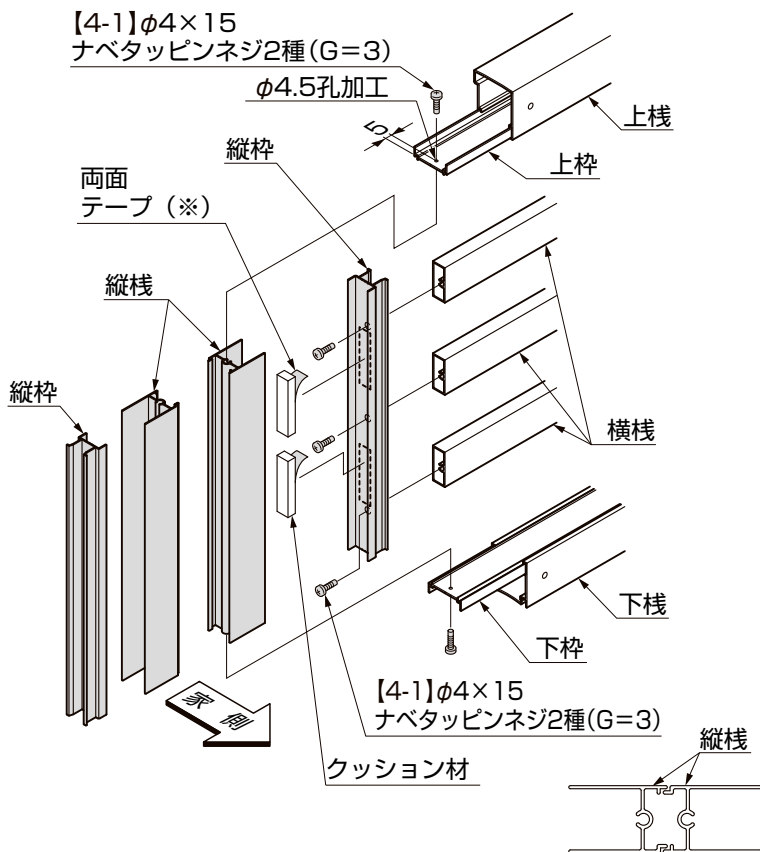


図3-6 縦棧の取付け

- ①横棧に縦棹を【4-1】で取付けてください。
- ②上・下棧を左右にスライドし、上・下棧に左図を参照してφ4.5の孔をあけてください。
- ③クッション材の両面テープをはがし、左図を参照して、縦棧に貼付けます。

ポイント

●クッション材は、両面テープのある面が縦棹との接着面です。(※)

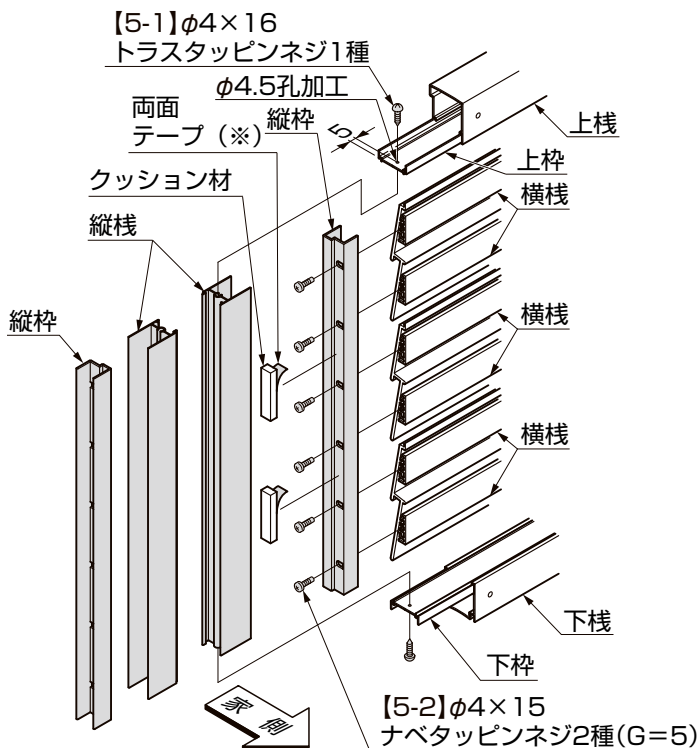
- ④縦棧を【4-1】で上・下棧に取付けてください。

ポイント

●縦棧は、図3-6のように取付けてください。

- ⑤スライドさせた上・下棧を元の位置に戻してください。

3-6 プレスタ8S型の場合



- ①横棧に縦棹を【5-2】で取付けてください。
- ②上・下棧を左右にスライドし、上・下棧に左図を参照してφ4.5の孔をあけてください。
- ③クッション材の両面テープをはがし、左図を参照して、縦棧に貼付けます。

ポイント

●クッション材は、両面テープのある面が縦棹との接着面です。(※)

- ④縦棧を【5-1】で上・下棧に取付けてください。

ポイント

●縦棧は、図3-6のように取付けてください。

- ⑤スライドさせた上・下棧を元の位置に戻してください。

ポイント

●ポリカーボネートのルーバーパネルは熱膨張するため横棧より片側3mm短く切断してください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

取説コード

C443

JZZ626592B
201401A_1047
201607C_1047